

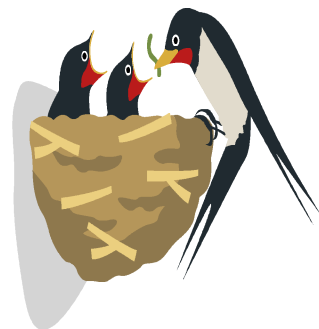
学校
通信



延岡市立東小学校
令和元年 5月号
文責：校長 末廣恭雄

改元に伴う様々な行事とともに、初めての10連休を過ごした日本でした。行楽地もずいぶん賑わったようですが、皆様にはどんなお休みだったでしょうか。

新元号「令和」がスタートしました。令和という表記には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味があるそうですが、新しいこれからの日本を象徴する元号となりました。さて、学校通信「つなぐ」5月号をお届けします。ごゆっくりお楽しみください。



こんな子どもを育てます② ～東小のチャレンジ～

【令和元年度の基本的な学校経営の方針】

「豊かな心を持ち、自ら学び、最後までやりぬく子どもの育成」を目指し、キャリア教育と特別支援教育を基盤にした、学校・家庭・地域をつなぐ東小学校ならではの教育を実現します。

そのことによって

〔子どもが〕通いたい・〔保護者が〕通わせたい・〔先生が〕働きたい

と思えるような学校づくりを目指します。

ここでいうキャリア教育とは



単なる職業指導や進路指導ではなく、将来の夢や希望を実現するために必要な力を身に付けるために、身の回りの「ひと・もの・こと」から「生き方を学ぶ」学習と考えます。激しい社会の変化（情報化、グローバル化など）の中でも、自分をしっかりと見つめ他と協調しながら生き抜くことができる子どもを育てていくことがねらいです。

特別支援教育を基盤とすること



どんな子どもにも特性があります。そのよさを伸ばし、苦手を克服できるように支援することが基本です。延岡市の手厚い施策により、支援員も配置されています。子どもに寄り添いながら、少しでも子どもが「分かる・できる」を笑顔で実感できるような支援を模索します。

アンケートにご協力ください

保護者が「こんな学校に通わせたい」と思えるような学校とは、どんな学校でしょうか。学力の高さ？ 独創的な行事？ 落ち着いた雰囲気？ いろいろとご意見があることでしょう。ぜひお聞かせください。これからの学校づくりの参考にさせていただきます。別途でアンケート用紙を配布しますので、学校まで提出ください。



= 一人でいられる力をつけよう =

4月26日（金）の全校朝会で子どもたちにこう話しました。これは、17世紀イングランドの作家トーマス・ブラウンの言葉です。人は一人では生きることができませんが、唯一無二の自分という存在という意味では私たちはいつでも一人だともいえます。自分を曲げてまで誰かに合わせたり、徒党を組んで仲間意識をおおったりする必要はありません。自分と同じであることを他人に求めず、他人と同じであることを自分に求めない、強くてしなやかな東っ子への成長を願っています。

行事予定

6月

- | | |
|--------|-------------|
| 4日（火） | プール開き |
| 5日（木） | 職員研修（給食後下校） |
| 12日（水） | 避難訓練（不審者対応） |
| 21日（金） | 鑑賞教室（音楽） |
| 24日（月） | 参観日（下学年） |
| 26日（水） | 参観日（上学年） |
| 29日（土） | 土曜授業・平和学習 |

明日のチカラ

子どもは親のいうことはきかないが、親のするとおりにするものである。

ジョセフ・マーフィ（英）

ホームページをご覧ください

4月末の時点で22万5千件を超える閲覧数です。これからもたくさんの方の情報を発信してまいります。どうぞご覧ください。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1709/htdocs/>

または

延岡市立東小学校

で

検索

